

諸福小だより

大東市立諸福小学校
平成30年6月21日(木)
第5号 校長 小林 享子
072-873-5716

《こんな子どもたちを育てたい》

教育の目的は「自立し、共生する心身ともに健康な人」を育てることです。自立とは、自分の行動を自分で決め、実行し、結果の責任を自分でとる、すなわち自己決定・自己責任原則を身につけることです。そのためには、情報を的確にとらえ、深く考え、論理的に判断し、実行する力及び公正な態度が必要です。

共生するとは、自分とは異なる立場や考え方の人々の存在を認め、互いに尊重し合い、助けたり、助けられたりすることです。そのためには、他者の思いや状況を正確に理解し、自分の考えを的確に表現する力および弱い者を切り捨てない温かい心が必要です。

心身の健康とは、自立と共生の土台となる健全な自己肯定感や社会性ならびに健康な体です。

人は、①自分が愛され尊重されていると感じることから、自分を大切に、自分がOKだという自尊感情をもちます。これが自己肯定感の基となります。次に、②自分が大切なら、同じように他者も大切なのだという相対感覚から、社会性を獲得していきます。やがて③世の中には、やらなければならないこと、やってはならないことがあるという絶対的な規範感覚を発達させ、公正な態度を身につけていきます。①②③を順調に発達させた子どもは、明るく元気で優しい子に育ちます。

これに、体の丈夫さを加えれば、教育の目的は十分達成されたといえるでしょう。ときおり、自分だけがOKで、他者は踏みつけにしていいという暴君的自己肯定感＝小児万能感をむき出しにした人の起こす事件が報道されます。実に不幸なことです。

幸い、本校の子どもたちは、①②③の段階をうまく乗り越えつつあります。家庭・地域社会・学校の努力と協力のたまものだと思います。これからも宜しく願いいたします。

《幼小交流会》



6月15日(金)に諸福幼稚園との交流会を実施しました。七夕に向けての短冊作りを一緒にしました。1年生が園児を教える形で、お姉さんお兄さんらしく、優しく丁寧に教えながら、一緒に色紙を切って、丸や三角の短冊を作りました。とても楽しそうでした。みんな何を願うのかな。

「勉強は大切」でも「勉強は嫌い」

1学期も早いもので、1ヶ月余りになりました。1年生もすっかり学校に慣れ、掃除や給食の準備等、自分たちだけで友たちと力を合わせて頑張っています。

さて、夏休み前のこの時期、4月に決めた自分のめあてをもとに、それぞれ頑張ったことと不十分なことを整理し、残りの1学期を特に頑張ることを決めてチャレンジするとよいと思います。

苦手を克服した自信は、他のことにもきっとよい効果が出てくるはずです。元気がわいてくる声かけをお願いします。

4月の授業参観・学級懇談会でお忙しい中ご来校いただきありがとうございました。家庭と学校がバラバラに努力していても教育の効果は上がりません。本市で取り組んでいる学力向上も、学校の指導と家庭での指導が重なったとき、大きなちからとなっていくと思います。

国立教育研究所が行った調査でも、興味深い結果が出ています。たとえば「教科の勉強は大切か」という質問に対し、「大切だ」と答えた子どもは、小学生は9割、中学生は8割という結果でした。「教科の勉強が好き」という子どもは小学生で7割、中学生で6割となっています。

この結果から、子どもたちは「勉強は大切」と考えていても、目の前の勉強を好きになれない。だから、学校でも家庭でも熱心に勉強をしないのではないかという状況がうかがえます。

しかし、勉強をしない日が続いて、あるとき、愕然とします。授業を聞いていても少しもわからないのです。小学校での基礎・基本が定着していないと、中学校の授業はきつく感じます。でも、そう感じたときはかなり手遅れになった状態なのです。

本校では、子どもの興味・関心を引き出すためにいろいろと指導の工夫をしていますが、ご家庭でも次の「家庭学習のすすめ」（五つの確立）を参考にいただき、子どもたちの学力向上にご協力いただければ幸いです。

「家庭学習のすすめ」（五つの確立）

- 1、生活のリズムを確立する（朝食と睡眠をしっかりとる）
- 2、コミュニケーションを確立する（家族で話し合える雰囲気をつくる）
- 3、家庭学習の習慣を確立する（学年×15分の習慣をつくる）
- 4、読書の習慣を確立する（テレビより本に親しむ習慣をつくる）
- 5、自分の得意分野を確立する（その子なりのよさを伸ばす）

《大阪府北部地震》

6月18日（月）7時58分時に大阪北部に地震が発生しました。朝の登校の時間帯でしたので、子ども達の安全は確保できましたので安心しました。ただ、今後余震が続くことが考えられると気象庁からも通知がありました。それに伴い、学活の時間に校内での地震発生時の避難の仕方の確認と臨時の地区集会を開き、登下校時の危険個所の確認をしました。「地震や火事はいつ起こるかかわからないこと」「自供・共助」などについて考えなければなりません。お家で防災について話合うことをお勧めします。「自分の命を守るためにはどうすればよいか」「身を守るための方法」「別々のことをしているときに起こったら、どこで待ち合わせるか」「家から持ち出すグッズについて」「どこに避難するのがいいのか」普段から、考えていくことが必要です。話し合っておかれるといいと思います。